

評論文／説明文 重要語編 30

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
都市	環境破壊	倫理	遺伝子	総合	分析	普遍	均質化	物質主義	精神	共同体	生態系	個人主義	コミュニケーション	I T 革命	情報化社会	理念	無機的	有機的	アイデンティティ	西洋	客観	主観	理性	自我・自己	近代化	合理性	多義性	本質	非日常
人口が密集した、生産の効率を第一に考える他人に無関心な空間。	酸性雨による生態系への被害・地球温暖化・オゾン層の破壊などの、自然破壊の総称。	人が社会生活をするうえで守るべき基準(規範)。 モラル	生物をつくりあげるうえでの設計図にあたるもの。	分析された各要素をまとめあげること。	物や事を大きさや重さに細かく要素に分けて調べること。	すべてのものに共通してあてはまるもの。	余分な、みんなと同じではないものを排除(徹底的に消す)し性質をすべて一定のものにする事。	精神的な心を無視して物質(衣食住などのお金で解決できるモノ)を第一とする立場。	脳の働きをもとにした、人間特有の能力。 心	古くからの慣習(ならわし)を守りながら、価値観を人々と合わせて生きていく集団。	共に生きている(共生)生物や環境をとりまとめたもの。	個人の自由と権利を尊重(大切に)する考え方。	会話などでお互いの意思を伝達し、人間同士が交流すること。	インターネットなどをもたらした情報技術で社会に革新を起こしたこと。	情報自体が価値(重要性)をもつ、コンピューターやインターネットに支配された社会。	こうあるのがよい、という最高の考え方。	生命力や人間味のないようす。	生命力や人間味をもつてはたらくこと。	自分と他人の違いを認めること。自分らしさ。	ヨーロッパやアメリカなど、社会制度が整い、産業が発達した「近代化」を終えた欧米諸国。	誰にも共通する考え方。	その人だけの独自の考え方。	感情に流されない、落ち着いた心のはたらき。	思考(考え)や実践(行動)の中心、世界の中心としての自分。 主体	社会を能率化し、「共同体」(集団)から「個人」(一人の人間)に価値を移すこと。	理屈・論理に合っていて、無駄がなく能率的であること。	一つの言葉が人によってさまざまな意味をもつこと。	それなしではものが成り立たない重要な中心にある要素。	日々の繰り返し「労働」「勉強」などの日常から脱出すること。

小説文 心情語編 70

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
外に出る感動(めく)	外に出る感動(か)	外に出る感動(か)	心に深く感動(む)	心に深く感動(ほ)	心に深く感動(む)	心に深く感動(き)	心に深く感動(か)	ぐつと耐え忍ぶ(は)	耐え切れない(は)	悲しみ(か)	悲しみ(あ)	悲しみ(む)	悲しみ(な)	悲しみ(か)	悲しみ(が)	悲しみ(う)	悲しみ(う)	味わいに心引かれる	笑えるおもしろさ	ひどい恐怖	様子があやしい	様子があやしい	社会への怒り(ぎ)	激しい怒り(げ)	激しい怒り(い)	内から出る怒り(は)	内から出る怒り(あ)	目に見える怒り	×意外に思う(し)	×意外に思う(う)	×意外に思う(あ)	○意外に思う(あ)	○意外に思う(は)	○意外に思う(き)
目頭を熱くする	感涙にむせぶ	肩を震わせる	胸に響く・胸を詰まらせる	骨身にしてみる	胸を打たれる・胸が一杯	琴線に触れる	感激する・感無量	歯をくいしばる(風雪に耐える)	腹にすえかねる・腹の虫がおさまらない	感傷	哀愁・哀傷	胸がつかえる	嘆く	肩を落とす	がつくりする	憂える	うなだれる	趣深い	愉快だ	戦慄	不審だ	滑稽だ	義憤を覚える	逆鱗に触れる	憤り	腹立たしい	頭にくる	目をつりあげる	心外だ	裏目に出る	当てが外れる	案外だ	図らずも	期せずして
70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36
喜びで泣く(か)	激しく泣く(こ)	声をおさえて泣く(お)	能力に対する自信(じ)	能力に対する自信(は)	能力に対する自信(じ)	能力に対する自信(う)	過剰な自信(じ)	過剰な自信(こ)	過剰な自信(の)	過剰な自信(お)	過剰な自信(う)	態度に出る自信(む)	態度に出る自信(こ)	態度に出る自信(ひ)	態度に出る自信(は)	態度に出る自信(は)	さびしい(漢字に)	困る(と)	困る(て)	困る(あ)	困る(こ)	苦労する(ほ)	苦労する(く)	苦しい(む)2つ以上	苦しい(い)	苦しい(く)	苦しい(つ)	苦しい(せ)	苦しい(た)	声の出る苦しき(2つ)	驚き+感動(め)	驚き+感動(し)	驚き+感動(か)	
感泣(嬉し泣き)	号泣(泣き叫ぶ・泣きじゃくる)	嗚咽(すすり泣く)	自尊する・自負する	鼻が高い(プライドを持つ)	人後に落ちない	腕が鳴る・腕に覚えがある	自画自賛	傲慢な(慢心する)	のぼせる・のぼせあがる	思い上がる	うぬぼれる	胸を張る	誇示する	意気揚々	ひけらかす(見せびらかす)	鼻息が荒い・鼻高々・鼻に掛ける	寂しい・淋しい	途方に暮れる	手も足も出ない・手を焼く	頭を痛める・頭を抱える	困窮・困苦	骨が折れる	苦心する	胸が詰まる・胸が張り裂ける	胸が裂ける・胸が締めつけられる	息が詰まる	苦痛・苦難・苦悩・苦悶	辛い	切ない	耐えられない・耐え難い	あえぐ・うめく・もたえる	目を見張る	舌を巻く	感心する

小説文 心情語編 70

35	外に出る感動(めゝ)		70	喜びで泣く(かゝ)	
34	外に出る感動(かゝ)		69	激しく泣く(こゝ)	
33	外に出る感動(かゝ)		68	声をおさえて泣く(おゝ)	
32	心に深く感動(むゝ)		67	能力に対する自信(じゝ)	
31	心に深く感動(ほゝ)		66	能力に対する自信(はゝ)	
30	心に深く感動(むゝ)		65	能力に対する自信(じゝ)	
29	心に深く感動(きゝ)		64	能力に対する自信(うゝ)	
28	心に深く感動(かゝ)		63	過剰な自信(じゝ)	
27	ぐっと耐え忍ぶ(はゝ)		62	過剰な自信(こゝ)	
26	耐え切れない(はゝ)		61	過剰な自信(のゝ)	
25	悲しみ(かゝ)		60	過剰な自信(おゝ)	
24	悲しみ(あゝ)		59	過剰な自信(うゝ)	
23	悲しみ(むゝ)		58	態度に出る自信(むゝ)	
22	悲しみ(なゝ)		57	態度に出る自信(こゝ)	
21	悲しみ(かゝ)		56	態度に出る自信(いゝ)	
20	悲しみ(がゝ)		55	態度に出る自信(ひゝ)	
19	悲しみ(うゝ)		54	態度に出る自信(はゝ)	
18	悲しみ(うゝ)		53	さびしい(漢字に)	
17	味わいに心引かれる		52	困る(とゝ)	
16	笑えるおもしろさ		51	困る(てゝ)	
15	ひどい恐怖		50	困る(あゝ)	
14	様子があやしい		49	困る(こゝ)	
13	様子がおかしい		48	苦勞する(ほゝ)	
12	社会への怒り(ぎゝ)		47	苦勞する(くゝ)	
11	激しい怒り(げゝ)		46	苦しい(むゝ2つ以上)	
10	激しい怒り(いゝ)		45	苦しい(いゝ)	
9	内から出る怒り(はゝ)		44	苦しい(いゝ)	
8	内から出る怒り(あゝ)		43	苦しい(くゝ)	
7	目に見える怒り		42	苦しい(つゝ)	
6	×意外に思う(しゝ)		41	苦しい(せゝ)	
5	×意外に思う(うゝ)		40	苦しい(たゝ)	
4	×意外に思う(あゝ)		39	声の出る苦しき(2つ)	
3	○意外に思う(あゝ)		38	驚き+感動(めゝ)	
2	○意外に思う(はゝ)		37	驚き+感動(しゝ)	
1	○意外に思う(きゝ)		36	驚き+感動(かゝ)	